

出荷・販売契約数量等報告書の記入にあたって

別紙

1 **<記入例>**
対象となる米穀
主食用米・備蓄米・醸造用玄米

様式第 10-11 号

収入減少影響緩和交付金の積立て申出に係る米穀の出荷・販売契約数量等報告書

農林水産大臣 殿

申請者 住所 旭1丁目1番5号

氏名 ○×△営農組合
 代表 再生 協太郎

交付申請者管理コード 0 9 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
 対策加入者管理コード A

収入減少影響緩和交付金の積立て申出に当たり、6月末時点の米穀の契約数量及び計画数量を下記のとおり報告します。

1 農協又は主食集荷組合傘下業者へ販売又は販売委託する米穀の契約数量

地域等区分	出荷・販売先名	当年産の契約数量
	〇〇農協	〇〇 kg
	△△物産	△△ kg
	□□商店	□□ kg
		kg
		kg
		kg

注) 契約数量を確認できる書類（出荷契約書、販売契約書の写し等）を添付してください。

2 1以外の者に直接販売する米穀の販売計画数量

地域等区分	販売先 下記から選択してください	当年産の 販売計画数量	(参考) 前年産の 販売実績数量
	①卸・小売 ②中食・外食 ③消費者 ④その他		
	①	◎◎ kg	△△ kg
	②	▽▽ kg	□□ kg
	④ (醸造所)	◇◇ kg	なし kg
		kg	kg
		kg	kg
		kg	kg
		kg	kg
		kg	kg
		kg	kg

注1) 販売計画数量は、前年産の販売実績や経営規模の変動等を踏まえて記入してください。

注2) 販売先として「④その他」を選択する場合は、()を付して仕向先等を記入してください。(例: ④(醸造所))

注3) 当年産の販売計画数量及び前年産の販売実績数量は、それぞれ生産翌年3月までの販売対象数量を記入してください。

3 合計 (1+2)

地域等区分	当年産の 契約数量及び販売計画数量
	◎◎◎ kg
	kg

2 申請者の住所と氏名を記入願います。法人等の場合は、名称及び代表者の氏名を記入願います。

3 出荷・販売契約を締結した「出荷・販売先名」及び「当年産の契約数量」を記入願います。米穀の種類等で分類せず、契約先ごとの合計数量を記入願います。また、出荷・販売先ごとの出荷・販売契約書の写しを添付願います。宇都宮農協出荷分は不要。

4 「販売先」の種類を①～④から選択して番号を記入願います。「④その他」を選択する場合は()内に詳細を記入願います。また、販売先ごとの「当年産の販売計画数量」及び「前年産の販売実績数量」を記入願います。

5 「当年産の契約数量」及び「当年産の販売計画数量」の合計を記入願います。

<その他>

今回の報告書における契約・計画数量と、実際の出荷・販売実績が異なる場合、ナラシの対象となる範囲は、以下のとおりとなります。

- JA等の集出荷業者へ出荷・販売する米穀
 原則、出荷・販売先ごとに、加入申請時の契約数量が上限となります。ただし、契約締結後に、豊作等により契約者間で数量の上乗せ更新を行い、そのことが書面により確認できる場合は、更新後の数量が上限となります。
- 実需者等へ直接販売する米穀
 実需と結びついていると見なし、実際の販売数量が対象となります。